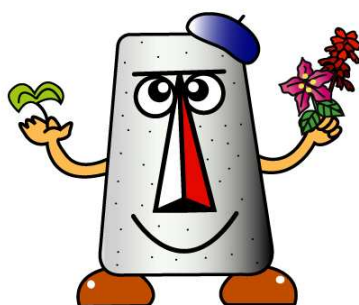


『第3期宇部市障害福祉計画』の策定のための  
**障害者関係団体との意見交換会に  
関する報告書**



**宇 部 市**  
**平成 23 年 11 月**

---

---

# 目 次

---

---

## 第 1 章 意見交換会の概要 \_\_\_\_\_ 1

- 1 開催目的 . . . . . 1
- 2 開催概要 . . . . . 1

## 第 2 章 意見交換会に関する報告 \_\_\_\_\_ 3

- 1 障害福祉サービスについて . . . . . 3
- 2 指定相談支援・地域生活支援事業について . . . . . 3
- 3 障害福祉サービス等の目標値の設定及び  
目標達成のための方策について . . . . . 4
- 4 障害福祉サービス等の円滑な提供体制の確保・質の向上について . 4
- 5 その他 . . . . . 4

# 第1章 意見交換会の概要

## 1 開催目的

この意見交換会は、「第3期宇部市障害福祉計画」の策定にあたり、障害者関係団体から今後の福祉施策へのニーズを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に開催したものです。

## 2 開催概要

### (1) 対象団体

対象団体は、原則として、下記アからウの条件を満たしている障害者関係団体(主に、障害当事者又はその家族で構成されている団体)を選定しました。

- ア 宇部市社会福祉協議会又は宇部市民活動センターの登録団体
- イ 市内に事務局を設置している団体
- ウ 1年以上の活動実績がある団体

### (2) 参加団体(13団体)

団体名	設立年月日	会員数
財団法人 宇部市身体障害者福祉協会	昭和45年 2月	120人
宇部市聴覚障害者福祉協会	昭和23年 9月	89人
宇部市視覚障害者福祉協会	昭和23年 11月	56人
宇部市腎友会	平成3年 5月	85人
財団法人 宇部市手をつなぐ育成会	昭和40年 4月	162人
NPO 法人 日本自閉症協会 山口県支部宇部分会	昭和50年 4月	62人
特定非営利活動法人 むつみ会	昭和48年 12月	80人
知的障害者家族の会 “そら”	平成10年 1月	17人
在宅障害児・者と家族を支援する会	平成13年 3月	約100人
特定非営利活動法人 おひさま生活塾	平成16年 7月	60人
社会福祉法人南風荘を後援する会 (南風荘後援会)	平成21年 9月	347人
山口喉友会	昭和52年	
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	平成17年 11月	30人

### (3) 実施方法

参加団体全てが一堂に会し、項目ごとに意見交換を進めました。(各団体が意見交換することにより、団体間の情報を共有するとともに、連携の促進が図られるよう配慮しました。)

#### (4) 実施日及び内容

平成 23 年 8 月 20 日（土） 10:00～12:30

[項目]

- 1 「障害福祉サービス」について
  - ・ 訪問系サービス
  - ・ 日中活動系サービス
  - ・ 居住系サービス
- 2 「指定相談支援・地域生活支援事業」について
  - ・ 指定相談支援
  - ・ 地域生活支援事業
  - ・ コミュニケーション事業
- 3 「障害福祉サービス等の目標値の設定及び目標値達成のための方策」について
  - ・ 施設・入院から地域生活への移行の推進について
  - ・ 施設から一般就労への移行推進
- 4 「障害福祉サービス等の円滑な提供体制の確保・質の向上」について
  - ・ 事業者の参入
  - ・ サービス提供事業者に対する第三者の評価
  - ・ 障害者等に対する虐待の防止
  - ・ 苦情解決体制の整備
  - ・ その他
- 5 その他

## 第2章 意見交換会に関する報告

意見交換会では、項目ごとに各団体における個別の課題や具体的な意見など、数多くの御意見をいただきました。

これらの御意見について、項目ごとに整理し、課題を取りまとめました。

### 1 障害福祉サービスについて

意見・提言	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉計画における「見込み」と「実績」の差について、原因を精査する必要がある。</li> </ul>	見込み量と実績の精査
<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所施設が不足している。</li> <li>・保護者の計画的レスパイトのための短期入所システムを確立する必要がある。</li> </ul>	短期入所の受入確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ケアの充実した短期入所施設が必要である。</li> <li>・透析患者専用の施設があると良い。</li> <li>・重度障害者の利用できるサービスを充実する。</li> </ul>	医療ケアのあるサービスの充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の早めの対応と指導体制の整備が必要である。</li> <li>・自閉症について、民生委員を通じて地域の人に情報提供していただき、もっと関心を持って欲しい。</li> <li>・施設入所の人に災害時等の情報が少ない。</li> </ul>	情報提供体制の強化

### 2 指定相談支援・地域生活支援事業について

意見・提言	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の利用量・利用率からみても、計画的に指定相談員の増加が必要である。</li> <li>・医療・就労・福祉サービスの未利用者におけるケアマネジメントを充実させる必要がある。(ソーシャルサポートネットワークの構築)</li> </ul>	相談支援事業の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護となっても、今までの移動支援と比べて質・量とも低下しないようにして欲しい。</li> <li>・利用者、事業所職員とも、移動支援制度の理解が不足している。</li> </ul>	移動支援事業の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話や要約筆記については、できる人をもっと養成してほしい。</li> <li>・発達障害に対するコミュニケーションが課題である。</li> <li>・代筆・代読サービスについて、利用者・事業所職員への普及啓発が必要である。</li> </ul>	コミュニケーション事業の充実

### 3 障害福祉サービス等の目標値の設定及び目標達成のための方策について

意見・提言	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域生活移行後の支援体制を強化する必要がある。</li> <li>・ 地域生活移行後の実情のチェックと、移行が進まない原因を究明する必要がある。</li> </ul>	地域生活への円滑な移行
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校から職場体験ができるようになると良い。</li> <li>・ 就労後、何年継続できているか等の経過を調査し、継続できない要因を究明する必要がある。</li> </ul>	就労支援の強化

### 4 障害福祉サービス等の円滑な提供体制の確保・質の向上について

意見・提言	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待防止に関して、研修による職員の質の向上が必要である。(職員に一貫した意識、共通の情報が必要)</li> <li>・ 日中活動系サービスの施設利用者に対して、虐待防止の対策をお願いしたい。</li> </ul>	虐待防止対策の整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情に関して、利用しやすい相談窓口を明確にすべきである。</li> <li>・ 苦情と解決方法を公開する必要がある。</li> </ul>	苦情解決体制の整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援者の資質の向上が必要である。</li> <li>・ 障害者の個々に応じた支援計画を立てる専門職の増員とその資質の向上が必要である。</li> <li>・ 相談員の資質向上のため、情報交換や研修の実施が必要である。</li> </ul>	支援者の資質向上

### 5 その他

意見・提言
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親亡き後のサービスの充実が必要である。</li> <li>・ 幼稚園などの不応児に支援ができる発達支援センターの位置づけが必要である。</li> <li>・ 学校卒業後に、施設に行くまでに利用できる専門学校がほしい。</li> <li>・ 各市営住宅にバリアフリー住宅枠を計画的に増やして欲しい。</li> <li>・ 福祉医療費助成制度の継続は必要である。</li> </ul>